

総務産業
常任委員会

10月5日・6日
町内所管事務調査

10月5日及び6日の2日間の日程で町内所管事務調査を行いました。

所管事務調査は、町から提案された予算案や条例案などの議案審査をするのとは違い、常任委員会ですべて所管している事項について、自主的にテーマを設定し、議決が必要な調査を閉会中に行うものになります。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、町外での調査は実施せず、町内の調査のみ実施しました。

現地調査を基本とし、施設の管理運営や、各種事業の執行状況について担当課長等から説明を受けました。

調査内容は、上名寄農

業研修道場や上名寄交流広場、野球場、林業総合センターなど9か所の現地調査と財政状況について担当課より説明を受け、調査を終えました。

調査結果については、直近の議会で、大西功総務産業常任委員長より報告します。

議会だよりでは、次号(191号)にて詳細な調査結果を報告します。



上名寄農農業研修道場にて

上川管内町村議会議員
研修会に参加しました

上川町村議会議長会主催の「令和2年度上川管内町村議会議員研修会」が10月9日に鷹栖町の、たかすメロディホールで開催され、4名の議員が参加しました。

研修講師である新潟県立大学国際地域学部准教授、田口一博氏から「議会を取り巻く動きから」、一般社団法人札幌農学同窓会理事長、松井博和氏から「志ある若者を育てるには」をテーマに議員定数や報酬のあり方、時代に求められ、活躍できるリーダーの育成について、講演をいただきました。

今回の研修内容を今後の議会活動にいかして行きたいと思えます。



研修講師の田口一博氏

編集後記

昨年、ラグビーワールドカップで「4年に一度じゃない。一生に一度だ。」という広告を見た方も多いと思います。今年も「4年に一度」のオリンピックイヤーのはずが、コロナ禍は全世界に「一生に一度」級の影響をもたらしました。

議会だより187号で小欄を担当した時、こんな文章も準備していました。「経験則で対応できることと、想定外への適応力をバランスよく備えていきたいです。令和2年の下川町議会も、様々な事象に直面しつつも、最善の策に到達できるよう議論を展開したいです」

今年は、文字通り「想定外への適応力」が求められる一年になったと実感しています。この先の状況も見通せませんが、いつも以上に健康に気をつけてお過ごしください。

(我孫子)



議会広聴広報特別委員会
(議会だより編集委員会)

委員 長	すけの助 之助
副委員 長	おき興 仁
委員	ひろ洋 孫
	あび孫 子
	なかた 中 田
	おぼら 小 原
	あび孫 子